

まちが学び舎 Letter

“ふるさとから豊かな生き方を学ぶ”「ふるさと・キャリア教育プロジェクト」

2021. 12. 9

担当：学びの場クリエイター 西村



12月3日（金）

拳ノ川小学校5・6年生「楮の刈り取り」

「卒業証書の紙漉き」に向けて、原料である楮の栽培から、1年を通して体験し学んでいる5・6年生。低学年の頃から「むしはぎ」を経験し、先輩を見てきた子どもたちです。

・中嶋さん、大石さんに教えていただきながら、春から育ててきた楮をいよいよ刈り取る日です。6年生が、『暑い日の世話は大変だったけど、いい楮に育ってくれてうれしい』と最後の感想で言っていたように、りっぱに育った楮。中嶋さんも、「世話をがんばっているから、枝も落としやすい」とのこと。まずは、生えている状態で、楮の枝を落としました。

・むしはぎも経験しているみんなは、なぜ枝を落とすか、根元も残らないように落とす方がいいことを知っている… すごいです！

次の作業を想像して、少しでもよくなるように、ていねいに作業ができるのは、本当に素晴らしいことですね。

・枝を落とした後は、いよいよ根元から刈り取り。手が痛い！と言いながらも、1本1本力を込めて、ハサミで切っていました。そして、一定刈り取った楮がたまると、自然と、束ねる人と、刈り取る人に、役割分担。こんな風に動けるのも、素晴らしいですね☆ 分からないことは中嶋さんに聞き、きちんと確認もして作業をしていました。

・終わらないかも…という心配も無用！みんなの力で、楮の刈り取りと、きれいに束ねて軽トラにのせるところまで、しっかりと終わることができました。



『中嶋さんがコツをしてくれたので、スムーズに作業ができて楽しかったです。ありがとうございました。』



まずはしっかりと、やり方を聞く・見る



枝を根元ぎりぎりのところで切る



手が痛い！と言いつつ、太い楮にも挑戦



次の作業「束ね方」を中嶋さんに教えていただく



友達で教え合う



冷えたみかんの、みずみずしくておいしいこと！



藤崎さんにも、ありがとうございます！



運び込みまで、しっかりとやり切りました